

さんみん

『さんみん』とは、沖縄の言葉で「計算」、「勘定」、「判断」などの意味です。

財務報告書 Financial Report 2013



国立大学法人 琉球大学

さんみん「財務報告書」の公表にあたって ～ Financial Report 2013 ～

国立大学法人は、国民その他の利害関係者に対し、財政状態や運営状況に関する説明責任を果たし、自己の財務状況を客観的に把握する観点から、毎事業年度、財務諸表並びに事業報告書及び決算報告書を作成し公表することが義務付けられています。

本学の平成 24 事業年度の財務諸表等につきましては、ホームページ上に掲載し公表しておりますが、本報告書は琉球大学を支えてくださる多くの皆様に、本学の財務状況及び教育・研究・診療等に関連する活動内容について分かりやすくお伝えすることを目的として、本学財務部の若手職員を中心とした企画編集グループを立ち上げ、見やすい紙面づくりを心がけて作成いたしました。

この報告書が、皆様にとりまして琉球大学の活動を少しでもご理解いただく一助となることを願っております。



目次

CONTENTS

- 02 学長あいさつ
- 03 本学の運営体制
- 04 貸借対照表の概要
- 06 損益計算書の概要
- 08 主な財務指標
- 14 琉球大学の教育経費・研究経費
- 15 教育関連事業
- 18 研究関連事業
- 19 外部資金等
- 20 診療関連事業
- 22 土地・建物など



本報告書「さんみん」は、平成 25 年 9 月 24 日付けで文部科学大臣に承認された平成 24 事業年度財務諸表に基づき作成しています。

本学の財務諸表については、官報及び本学ホームページ上の法人資料のページでご覧いただけます。以下の URL よりご覧下さい。

[\(http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/houjin_siryou/zaimu_syohyo/\)](http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/houjin_siryou/zaimu_syohyo/)

(琉球大学ホームページ>Contents[大学情報]>琉球大学の法人資料>(財務)財務諸表等決算関係書類)

学長あいさつ



琉球大学の教育研究活動に対し、日頃より温かいご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

本学は、「自由平等、寛容平和」という建学の精神に基づく「真理の探究」、「地域・国際社会への貢献」、「平和共生の追求」を基本理念とする日本最西南端の総合大学であり、「熱帯・亜熱帯島嶼の地域特性と国際性を併せ持つ、アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点大学」を目指して教育研究活動の推進に取り組んでおります。

経営環境については、教育研究の基盤を支える最も重要な財源である国から交付される運営費交付金が、大学改革促進係数という一定の削減係数が課せられて毎年減額されるなど、依然として厳しい状況にあります。このような状況の中、本学では安定した経営基盤を確保するため、寄附金や受託研究等の外部資金、また国の実施する公募型教育研究資金の獲得を推進するとともに、徹底した経費抑制に努めております。

さて、このたび文部科学大臣により平成24年度の財務諸表が承認されました。本報告書は、本学の財務情報について、本学運営の基盤を支えて頂いている皆様に対しまして、より深くご理解をいただくために情報を提供することを目的として作成しております。

国立大学法人を取り巻く環境は年々厳しいものとなっておりますが、本学の教育研究活動の一層の安定のために、財政基盤の充実・強化を図り、業務の健全化・効率化に努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援の程よろしく申し上げます。

琉球大学長 **大城 肇**

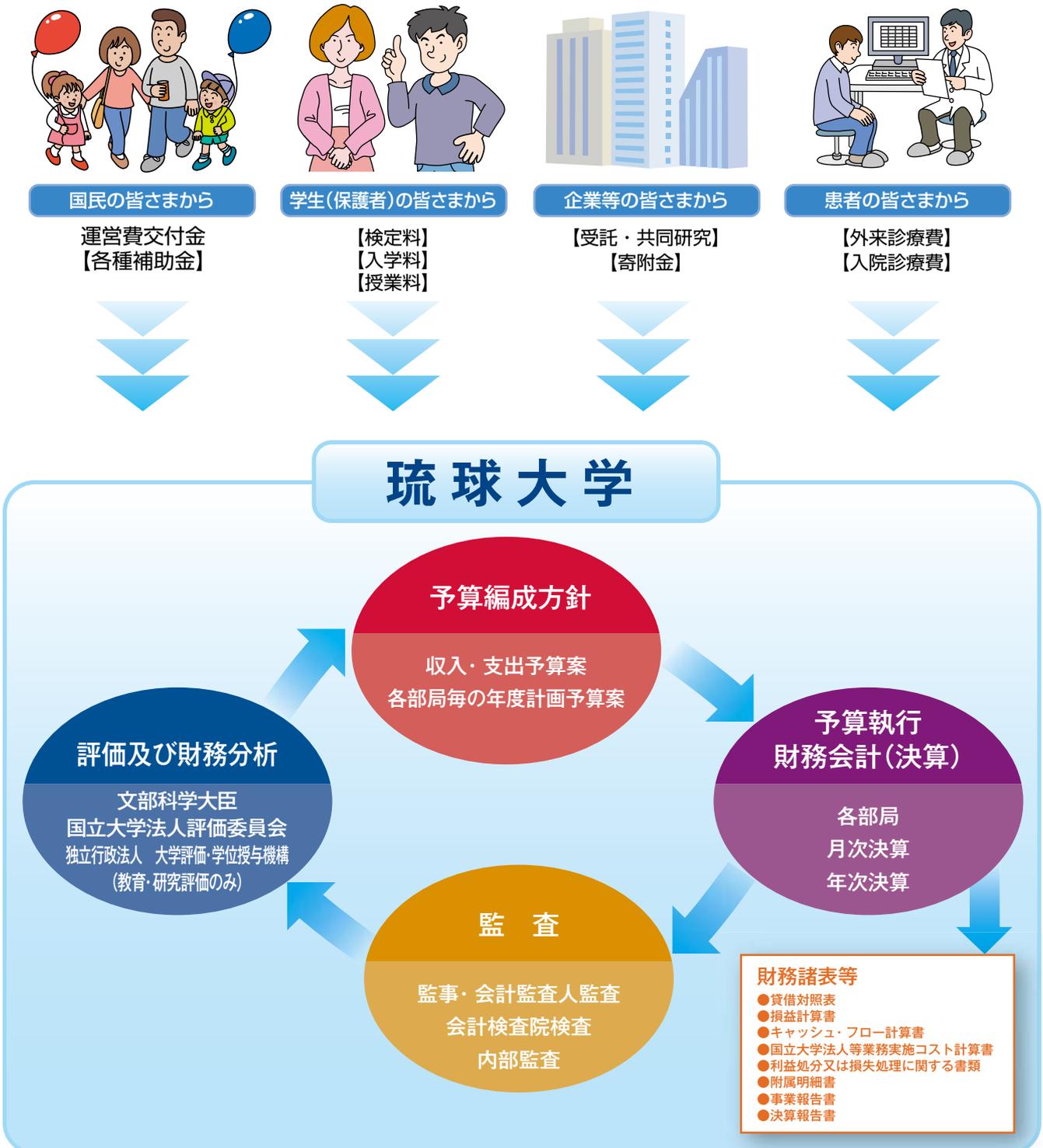


本学の運営体制

◆財務運営プロセス

国立大学法人は、国からの運営費交付金や施設整備費補助金などの財源措置のほか、授業料をはじめとする学生納付金、附属病院収入などのさまざまな事業収入により運営されています。

国立大学法人における業務運営は、[計画 (PLAN) - 実行 (DO) - 検証 (CHECK) - 反映 (ACTION)] という、いわゆる PDCA サイクルの実施により、常に評価し改善を図る仕組みを採用しており、この業務活動の基盤となる財務会計も PDCA サイクルによる検証とその反映を繰り返すプロセスとなっています。大学の公共的な性格のため、負託された財源をどのように使用したかを国立大学法人会計基準に基づき、財務諸表を通して社会や国民の皆さまに開示しています。



【貸借対照表の概要】

貸借対照表とは、ある一定時点（24年度決算では平成25年3月31日時点）での本学の財政状態を示した表です。その構成内容としては資産、負債、純資産となっています。

【資産の部】

資産の総額は約502億円であり、前年度より約22億700万円（対前年度比4.5%）増となっています。

(単位:百万円)

【建物の増加要因】

・機能画像診断センター及び附属病院中央電気室整備の新営工事等により約16億4,500万円（7.7%）増の約22億9,100万円

【建物の減少要因】

・減価償却の進行により減価償却累計額が約8億8,700万円（11.4%）増の約86億1,600万円

【工具器具備品の増加要因】

・PET関連設備、放射線治療システム及び内視鏡検査システム等の新規取得により約15億4,500万円（9.4%）増加

【工具器具備品の減少要因】

・減価償却の進行により減価償却累計額が約18億2,100万円（19.2%）増の約112億7,600万円

【資産の部】

固定資産

土地

建物

構築物

工具器具備品

図書

美術品・收藏品

ソフトウェア

投資有価証券

その他

	23年度	24年度	対前年度増減
土地	12,748	12,748	0
建物	13,415	14,173	758
構築物	1,041	1,069	28
工具器具備品	6,855	6,628	▲ 227
図書	3,960	3,982	22
美術品・收藏品	105	107	2
ソフトウェア	122	116	▲ 6
投資有価証券	99	505	406
その他	82	153	71

流動資産

現金及び預金

未収附属病院収入

未収学生納付金収入

有価証券

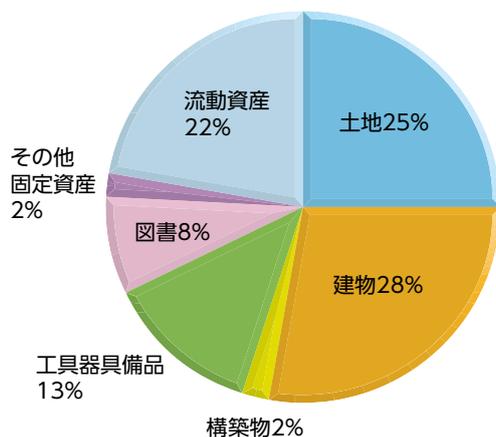
医薬品及び診療材料

その他

現金及び預金	5,013	6,910	1,897
未収附属病院収入	2,731	2,636	▲ 95
未収学生納付金収入	67	62	▲ 5
有価証券	201	0	▲ 201
医薬品及び診療材料	342	357	15
その他	1,288	830	▲ 458

資産合計 48,074 50,281 2,207

【資産の部】



※表示単位未満を切捨てしており、計は必ずしも一致しません。

【貸借対照表の概要】

【負債の部】

負債の総額は、約 262 億円であり、前年度より約 19 億 2,100 万円 (対前年度比 7.8%) 増となっています。

(単位:百万円)

【負債の部】

	23年度	24年度	対前年度増減
固定負債			
資産見返負債	8,779	8,400	▲ 379
財務・経営センター債務負担金	2,701	2,276	▲ 425
長期借入金	3,396	3,211	▲ 185
長期未払金※1	1,323	2,609	1,286
その他	210	238	28

流動負債

運営費交付金債務	699	941	242
寄附金債務	1,261	1,341	80
前受受託研究費等	93	115	22
一年以内返済債務負担金	442	424	▲ 18
一年以内返済長期借入金	392	447	55
未払金	4,716	4,689	▲ 27
その他	359	1,600	1,241
負債合計	24,376	26,297	1,921

【純資産の部】

資本金	14,872	14,872	0
資本剰余金	1,443	1,595	152
前中期目標期間繰越積立金	6,422	6,422	0
目的積立金	172	172	0
積立金	414	786	372
当期末処分利益	372	134	▲ 238
純資産合計	23,698	23,984	286
負債・純資産合計	48,074	50,281	2,207

【負債の部の増加要因】

- ・機能画像診断センターのリース資産取得に伴う P F I 債務約 16 億 5,500 万円
- ・未払退職金が約 4 億 7,000 万円 (41.7%) 増の約 15 億 9,500 万円

【負債の部の減少要因】

- ・国立大学財務・経営センター債務負担金が、償還により約 4 億 4,200 万円 (14%) 減の約 27 億 100 万円

【純資産の部】

純資産の総額は、約 239 億円であり、前年度より約 2 億 8,600 万円 (対前年度比 1.2%) 増となっています。

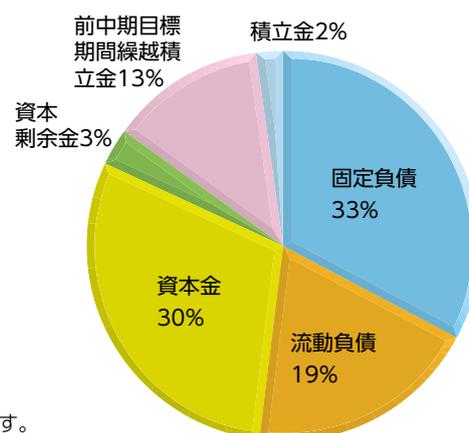
【純資産の増加要因】

- ・資本剰余金が施設整備費補助金を財源に建物等の固定資産を取得したことにより約 7 億 5,500 万円 (9%) 増の約 9 億 9,400 万円

【純資産の減少要因】

- ・特定償却資産に係る減価償却が進行したことにより資本剰余金の控除項目である損益外減価償却累計額等が、約 6 億 100 万円 (8.7%) 増の約 74 億 7,700 万円

【負債・純資産の部】



※表示単位未満を切捨てしており、計は必ずしも一致しません。

※1 長期未払金について、H24年度は長期リース債務と長期 P F I 債務の合計額となっております。

【損益計算書の概要】

損益計算書とは、一会計期間（24年度決算では平成24年4月1日～平成25年3月31日）における運営状況（企業では経営成績）を表す書類です。費用がいくらかかったか、収益がいくらあったか、その法人運営の結果、利益または損失がどれだけ発生したかを表したものです。構成内容としては、国立大学法人の場合、業務費の区分は、通常の消耗品費、水道光熱費など使途形態に応じてではなく、使途目的に応じて表示されます。収益については収入の形態別に分類されています。

【経常費用】

経常費用の総額は約349億円であり、前年度より約14億9,800万円（対前年度比4.4%）増となっております。

（単位：百万円）

【教育経費】

授業料免除及び就職支援等の奨学金の増額による増加

【研究経費】

経費区分の見直し等による増加

【診療経費】

附属病院収益の増に伴う増加

【人件費】

附属病院の医療スタッフの増員及び退職手当の増による増加

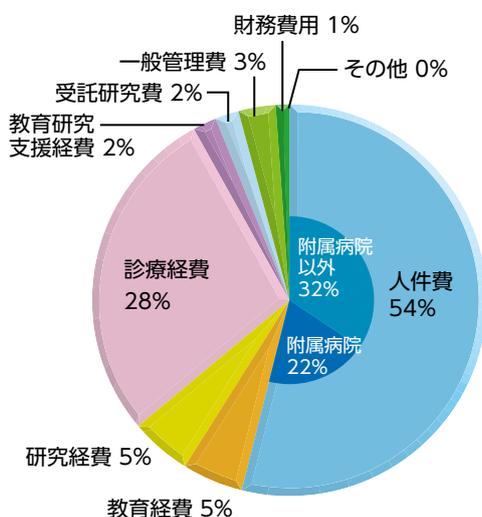
経常費用

教育経費
研究経費
診療経費
教育研究支援経費
受託研究・事業費等
人件費
一般管理費
財務費用
その他

経常費用計

	23年度	24年度	対前年度増減
経常費用			
教育経費	1,775	1,840	65
研究経費	1,831	1,848	17
診療経費	8,781	9,910	1,129
教育研究支援経費	516	538	22
受託研究・事業費等	651	881	230
人件費	18,294	18,738	444
一般管理費	1,372	967	▲405
財務費用	208	188	▲20
その他	7	24	17
経常費用計	33,439	34,937	1,498
臨時損失	4	18	14
当期総利益	372	134	▲238

経常費用に占める各費用の割合



※表示単位未満を切捨てしており、計は必ずしも一致しません。

【当期総利益】

経常損益に臨時損失の約1,800万円、臨時利益の約2,000万円を加減した結果、当期総利益は約2億3,800万円（対前年度比63.8%）減の約1億3,400万円となっております。

【損益計算書の概要】

(単位:百万円)

	23年度	24年度	対前年度増減
経常収益			
運営費交付金収益	12,592	12,150	▲ 442
学生納付金収益	4,264	4,413	149
附属病院収益	13,838	15,107	1,269
受託研究等収益	658	907	249
寄附金収益	558	479	▲ 79
補助金等収益	495	440	▲ 55
資産見返負債戻入	864	1,055	191
その他	517	515	▲ 2
経常収益計	33,790	35,070	1,280
臨時利益	25	20	▲ 5
前中期目標期間繰越積立金取崩額	0	0	0
目的積立金取崩額	0	0	0

【経常収益】

経常収益の総額は約350億7,000万円であり、前年度より約12億8,000万円(対前年度比3.7%)増となっております。

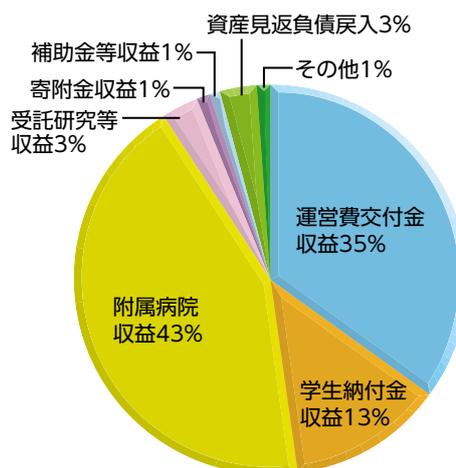
【附属病院収益】

診療報酬の改定による増、手術件数の増及び入院・外来患者の受入増による増加

【受託研究等収益】

外部資金獲得に努めた結果、受託研究・受託事業等収益が増加

経常収益に占める各収益の割合



※表示単位未満を切捨てしており、計は必ずしも一致しません。

附属病院セグメント情報(業務損益)		(単位:百万円)		
	23年度	24年度	増減	
業務費用	16,773	18,355	1,582	
診療経費	8,781	9,910	1,129	
人件費	7,068	7,625	557	
一般管理費	316	281	▲ 35	
その他	607	537	▲ 70	
業務収益	17,036	18,480	1,444	
運営費交付金収益	2,529	2,678	149	
附属病院収益	13,838	15,107	1,269	
その他	668	694	26	
業務損益	262	125	▲ 137	

◆附属病院運営状況

診療報酬改定や手術件数等の増による診療単価増および入院・外来患者数の受入増により、附属病院収益が約12億6,900万円(対前年度9.1%)増の約151億円となっております。それにともない、費用についても診療経費が約11億2,900万円(12.8%)増の約99億円、人件費が約5億5,700万円(7.8%)増の約76億円となっております。

【主な財務指標】

財務指標とは、財務諸表から数字を用いて計算し数値化することにより、大学の財政状況等を判断するうえで参考となる指標です。

ただし特殊要因等により、年度の変動が大きくなる場合もありますので、あくまで参考としてお考えください。
 ※指標は千円単位で計算しています。

指標		経年比較																																				
健全性	<p>運営費交付金比率</p> <p>【運営費交付金収益 ÷ 経常収益】 経常収益に占める運営費交付金収益の割合を示す指標。この比率が高いことは運営費交付金以外の収入が少ないことを意味する。 【低い値ほど良い】</p> <p>※1 Gグループ(25大学) →文部科学省において公表された国立大学法人の財務分析上の分類で、医学系学部その他の学部で構成される学部数概ね10以下の同系同規模の総合大学 弘前大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、三重大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学</p>	<p>運営費交付金比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営費交付金収益</td> <td>13,223</td> <td>13,023</td> <td>12,062</td> <td>12,592</td> <td>12,150</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>32,164</td> <td>32,560</td> <td>32,657</td> <td>33,790</td> <td>35,070</td> </tr> <tr> <td>運営費交付金比率(琉球大学)</td> <td>41.1%</td> <td>40.0%</td> <td>36.9%</td> <td>37.3%</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>35.8%</td> <td>34.2%</td> <td>31.9%</td> <td>31.3%</td> <td>28.7%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>37.0%</td> <td>35.6%</td> <td>33.3%</td> <td>32.9%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	運営費交付金収益	13,223	13,023	12,062	12,592	12,150	経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070	運営費交付金比率(琉球大学)	41.1%	40.0%	36.9%	37.3%	34.6%	Gグループ(※1)	35.8%	34.2%	31.9%	31.3%	28.7%	同規模大学(※2)	37.0%	35.6%	33.3%	32.9%	30.0%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
運営費交付金収益	13,223	13,023	12,062	12,592	12,150																																	
経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070																																	
運営費交付金比率(琉球大学)	41.1%	40.0%	36.9%	37.3%	34.6%																																	
Gグループ(※1)	35.8%	34.2%	31.9%	31.3%	28.7%																																	
同規模大学(※2)	37.0%	35.6%	33.3%	32.9%	30.0%																																	
健全性	<p>附属病院収入対長期借入金返済比率</p> <p>【(長期借入金返済+財務・経営センター納付金) ÷ 附属病院収入】 病院収入に対する借入金の割合を示す指標。この比率が低いほど病院の健全性が高い。 【低い値ほど良い】</p>	<p>附属病院収入対長期借入金返済比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長期借入金返済 + 財務・経営センター納付金</td> <td>963</td> <td>771</td> <td>763</td> <td>817</td> <td>835</td> </tr> <tr> <td>附属病院収入</td> <td>12,215</td> <td>12,683</td> <td>13,150</td> <td>13,702</td> <td>15,172</td> </tr> <tr> <td>附属病院収入対長期借入金返済比率(琉球大学)</td> <td>7.9%</td> <td>6.1%</td> <td>5.8%</td> <td>6.0%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>9.9%</td> <td>9.3%</td> <td>8.5%</td> <td>8.3%</td> <td>8.1%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>8.1%</td> <td>7.4%</td> <td>6.8%</td> <td>7.0%</td> <td>7.3%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	長期借入金返済 + 財務・経営センター納付金	963	771	763	817	835	附属病院収入	12,215	12,683	13,150	13,702	15,172	附属病院収入対長期借入金返済比率(琉球大学)	7.9%	6.1%	5.8%	6.0%	5.5%	Gグループ(※1)	9.9%	9.3%	8.5%	8.3%	8.1%	同規模大学(※2)	8.1%	7.4%	6.8%	7.0%	7.3%
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																	
長期借入金返済 + 財務・経営センター納付金	963	771	763	817	835																																	
附属病院収入	12,215	12,683	13,150	13,702	15,172																																	
附属病院収入対長期借入金返済比率(琉球大学)	7.9%	6.1%	5.8%	6.0%	5.5%																																	
Gグループ(※1)	9.9%	9.3%	8.5%	8.3%	8.1%																																	
同規模大学(※2)	8.1%	7.4%	6.8%	7.0%	7.3%																																	
効率性	<p>人件費比率</p> <p>【人件費 ÷ 業務費】 人件費の業務費に対する割合を示す指標。この比率が低いほど大学の効率性が高い。 【低い値ほど良い】</p> <p>※2 同規模大学(8大学) Gグループのうち、①学生数、②学部数とともに琉球大学とほぼ等しい大学 山形大学、富山大学、島根大学、山口大学、香川大学、長崎大学、熊本大学、琉球大学</p>	<p>人件費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>18,591</td> <td>18,262</td> <td>17,777</td> <td>18,294</td> <td>18,738</td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>29,757</td> <td>30,585</td> <td>30,448</td> <td>31,850</td> <td>33,758</td> </tr> <tr> <td>人件費比率(琉球大学)</td> <td>62.5%</td> <td>59.7%</td> <td>58.4%</td> <td>57.4%</td> <td>55.5%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>56.4%</td> <td>54.0%</td> <td>53.5%</td> <td>52.8%</td> <td>51.6%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>58.0%</td> <td>55.8%</td> <td>55.1%</td> <td>54.4%</td> <td>53.0%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	人件費	18,591	18,262	17,777	18,294	18,738	業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758	人件費比率(琉球大学)	62.5%	59.7%	58.4%	57.4%	55.5%	Gグループ(※1)	56.4%	54.0%	53.5%	52.8%	51.6%	同規模大学(※2)	58.0%	55.8%	55.1%	54.4%	53.0%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
人件費	18,591	18,262	17,777	18,294	18,738																																	
業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758																																	
人件費比率(琉球大学)	62.5%	59.7%	58.4%	57.4%	55.5%																																	
Gグループ(※1)	56.4%	54.0%	53.5%	52.8%	51.6%																																	
同規模大学(※2)	58.0%	55.8%	55.1%	54.4%	53.0%																																	

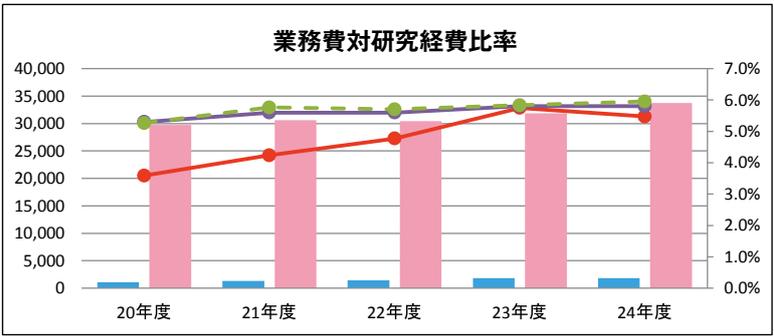
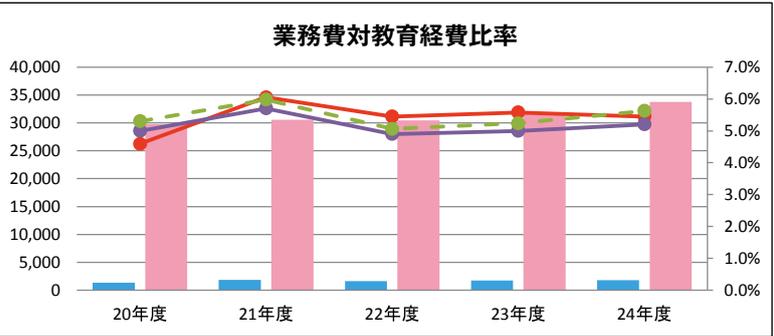
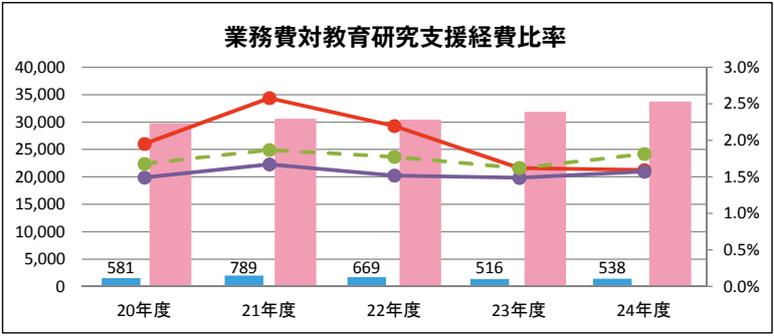
【主な財務指標】

指標		経年比較																																																
効率性	一般管理費比率 【一般管理費 ÷ 業務費】 一般管理費の業務費に対する割合を示す指標。この比率が低いほど大学の効率性が高い。 【低い値ほど良い】	一般管理費比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般管理費</td> <td>1,209</td> <td>1,481</td> <td>1,132</td> <td>1,372</td> <td>967</td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>29,757</td> <td>30,585</td> <td>30,448</td> <td>31,850</td> <td>33,758</td> </tr> <tr> <td>一般管理費比率(琉球大学)</td> <td>4.1%</td> <td>4.8%</td> <td>3.7%</td> <td>4.3%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>3.2%</td> <td>3.4%</td> <td>2.9%</td> <td>2.8%</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>3.4%</td> <td>3.6%</td> <td>3.0%</td> <td>3.0%</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:百万円)</p>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	一般管理費	1,209	1,481	1,132	1,372	967	業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758	一般管理費比率(琉球大学)	4.1%	4.8%	3.7%	4.3%	2.9%	Gグループ(※1)	3.2%	3.4%	2.9%	2.8%	2.7%	同規模大学(※2)	3.4%	3.6%	3.0%	3.0%	2.8%												
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																											
一般管理費	1,209	1,481	1,132	1,372	967																																													
業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758																																													
一般管理費比率(琉球大学)	4.1%	4.8%	3.7%	4.3%	2.9%																																													
Gグループ(※1)	3.2%	3.4%	2.9%	2.8%	2.7%																																													
同規模大学(※2)	3.4%	3.6%	3.0%	3.0%	2.8%																																													
発展性	外部資金比率 【(受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益) ÷ 経常収益】 外部資金収益の経常収益に占める割合を示す指標。この比率が高いほど外部資金の割合が高い。 【高い値ほど良い】	外部資金比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究等収益</td> <td>438</td> <td>579</td> <td>527</td> <td>475</td> <td>712</td> </tr> <tr> <td>受託事業等収益</td> <td>263</td> <td>161</td> <td>163</td> <td>182</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>寄附金収益</td> <td>409</td> <td>348</td> <td>398</td> <td>558</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>32,164</td> <td>32,560</td> <td>32,657</td> <td>33,790</td> <td>35,070</td> </tr> <tr> <td>外部資金比率(琉球大学)</td> <td>3.5%</td> <td>3.3%</td> <td>3.3%</td> <td>3.6%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>5.1%</td> <td>4.8%</td> <td>4.9%</td> <td>5.0%</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>5.0%</td> <td>4.6%</td> <td>4.8%</td> <td>4.9%</td> <td>4.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:百万円)</p>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	受託研究等収益	438	579	527	475	712	受託事業等収益	263	161	163	182	194	寄附金収益	409	348	398	558	479	経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070	外部資金比率(琉球大学)	3.5%	3.3%	3.3%	3.6%	4.0%	Gグループ(※1)	5.1%	4.8%	4.9%	5.0%	4.9%	同規模大学(※2)	5.0%	4.6%	4.8%	4.9%	4.7%
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																											
受託研究等収益	438	579	527	475	712																																													
受託事業等収益	263	161	163	182	194																																													
寄附金収益	409	348	398	558	479																																													
経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070																																													
外部資金比率(琉球大学)	3.5%	3.3%	3.3%	3.6%	4.0%																																													
Gグループ(※1)	5.1%	4.8%	4.9%	5.0%	4.9%																																													
同規模大学(※2)	5.0%	4.6%	4.8%	4.9%	4.7%																																													
発展性	寄附金比率 【寄附金収益 ÷ 経常収益】 寄附金収益の経常収益に占める割合を示す指標。この比率が高いほど寄附金の割合が高い。 【高い値ほど良い】	寄附金比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附金収益</td> <td>409</td> <td>348</td> <td>398</td> <td>558</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>32,164</td> <td>32,560</td> <td>32,657</td> <td>33,790</td> <td>35,070</td> </tr> <tr> <td>寄附金比率(琉球大学)</td> <td>1.3%</td> <td>1.1%</td> <td>1.2%</td> <td>1.7%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>1.8%</td> <td>1.6%</td> <td>1.8%</td> <td>1.9%</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>1.8%</td> <td>1.6%</td> <td>1.7%</td> <td>1.9%</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:百万円)</p>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	寄附金収益	409	348	398	558	479	経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070	寄附金比率(琉球大学)	1.3%	1.1%	1.2%	1.7%	1.4%	Gグループ(※1)	1.8%	1.6%	1.8%	1.9%	1.9%	同規模大学(※2)	1.8%	1.6%	1.7%	1.9%	1.8%												
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																											
寄附金収益	409	348	398	558	479																																													
経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070																																													
寄附金比率(琉球大学)	1.3%	1.1%	1.2%	1.7%	1.4%																																													
Gグループ(※1)	1.8%	1.6%	1.8%	1.9%	1.9%																																													
同規模大学(※2)	1.8%	1.6%	1.7%	1.9%	1.8%																																													

【主な財務指標】

指標		経年比較																																				
収益性	<p>【経常利益 ÷ 経常収益】 経常収益に対する大学の事業活動によって得た利益の割合を示す指標。この比率が高いほど事業活動の合理性と効率性が高い。 【高い値ほど良い】</p> <p>経常利益比率</p>	<p>経常利益比率</p> <p>(単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常利益</td> <td>935</td> <td>222</td> <td>829</td> <td>350</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>32,164</td> <td>32,560</td> <td>32,657</td> <td>33,790</td> <td>35,070</td> </tr> <tr> <td>経常利益比率(琉球大学)</td> <td>2.9%</td> <td>0.7%</td> <td>2.5%</td> <td>1.0%</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>2.9%</td> <td>0.8%</td> <td>3.9%</td> <td>2.3%</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>2.0%</td> <td>0.3%</td> <td>2.8%</td> <td>0.9%</td> <td>-0.1%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	経常利益	935	222	829	350	132	経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070	経常利益比率(琉球大学)	2.9%	0.7%	2.5%	1.0%	0.4%	Gグループ(※1)	2.9%	0.8%	3.9%	2.3%	1.2%	同規模大学(※2)	2.0%	0.3%	2.8%	0.9%	-0.1%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
経常利益	935	222	829	350	132																																	
経常収益	32,164	32,560	32,657	33,790	35,070																																	
経常利益比率(琉球大学)	2.9%	0.7%	2.5%	1.0%	0.4%																																	
Gグループ(※1)	2.9%	0.8%	3.9%	2.3%	1.2%																																	
同規模大学(※2)	2.0%	0.3%	2.8%	0.9%	-0.1%																																	
収益性	<p>【診療経費 ÷ 附属病院収益】 病院収益に対する診療経費の割合を示す指標。この比率が低いほど病院の収益性が高い。 【低い値ほど良い】</p> <p>診療経費比率</p>	<p>診療経費比率</p> <p>(単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療経費</td> <td>7,469</td> <td>7,666</td> <td>8,231</td> <td>8,781</td> <td>9,910</td> </tr> <tr> <td>附属病院収益</td> <td>12,430</td> <td>12,488</td> <td>13,531</td> <td>13,838</td> <td>15,107</td> </tr> <tr> <td>診療経費比率(琉球大学)</td> <td>60.1%</td> <td>61.4%</td> <td>60.8%</td> <td>63.5%</td> <td>65.6%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>63.5%</td> <td>65.8%</td> <td>63.7%</td> <td>65.0%</td> <td>65.1%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>62.9%</td> <td>64.5%</td> <td>64.0%</td> <td>65.9%</td> <td>65.3%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	診療経費	7,469	7,666	8,231	8,781	9,910	附属病院収益	12,430	12,488	13,531	13,838	15,107	診療経費比率(琉球大学)	60.1%	61.4%	60.8%	63.5%	65.6%	Gグループ(※1)	63.5%	65.8%	63.7%	65.0%	65.1%	同規模大学(※2)	62.9%	64.5%	64.0%	65.9%	65.3%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
診療経費	7,469	7,666	8,231	8,781	9,910																																	
附属病院収益	12,430	12,488	13,531	13,838	15,107																																	
診療経費比率(琉球大学)	60.1%	61.4%	60.8%	63.5%	65.6%																																	
Gグループ(※1)	63.5%	65.8%	63.7%	65.0%	65.1%																																	
同規模大学(※2)	62.9%	64.5%	64.0%	65.9%	65.3%																																	
収益性	<p>【附属病院収益 ÷ 病床数】 1病床当たりの病院収益を示す指標。この数値が大きいくほど病院の収益性が高い。 【大きい値ほど良い】</p> <p>病床当附属病院収益</p>	<p>病床当附属病院収益</p> <p>(単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>附属病院収益</td> <td>12,430,079</td> <td>12,488,530</td> <td>13,531,306</td> <td>13,838,707</td> <td>15,107,724</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>604</td> <td>604</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>病床当附属病院収益(琉球大学)</td> <td>20,579</td> <td>20,676</td> <td>22,552</td> <td>23,064</td> <td>25,179</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>21,414</td> <td>22,451</td> <td>24,562</td> <td>25,465</td> <td>27,051</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>20,261</td> <td>21,236</td> <td>23,187</td> <td>24,023</td> <td>26,576</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	附属病院収益	12,430,079	12,488,530	13,531,306	13,838,707	15,107,724	病床数	604	604	600	600	600	病床当附属病院収益(琉球大学)	20,579	20,676	22,552	23,064	25,179	Gグループ(※1)	21,414	22,451	24,562	25,465	27,051	同規模大学(※2)	20,261	21,236	23,187	24,023	26,576
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
附属病院収益	12,430,079	12,488,530	13,531,306	13,838,707	15,107,724																																	
病床数	604	604	600	600	600																																	
病床当附属病院収益(琉球大学)	20,579	20,676	22,552	23,064	25,179																																	
Gグループ(※1)	21,414	22,451	24,562	25,465	27,051																																	
同規模大学(※2)	20,261	21,236	23,187	24,023	26,576																																	

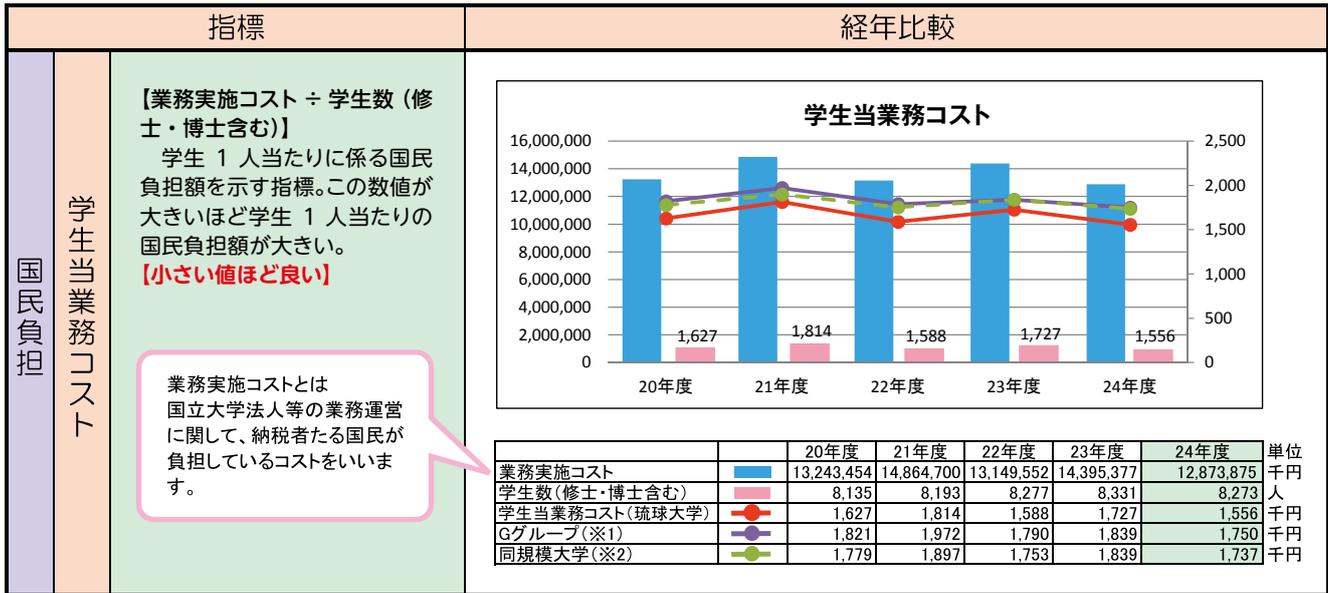
【主な財務指標】

指標		経年比較																																				
活動性	業務費対研究経費比率 【研究経費 ÷ 業務費】 業務費に対する研究経費を示す指標。この比率が高いほど研究活動に使用される経費割合が高い。 【高い値ほど良い】	業務費対研究経費比率  <p>(単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究経費</td> <td>1,069</td> <td>1,296</td> <td>1,453</td> <td>1,831</td> <td>1,848</td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>29,757</td> <td>30,585</td> <td>30,448</td> <td>31,850</td> <td>33,758</td> </tr> <tr> <td>業務費対研究経費比率(琉球大学)</td> <td>3.6%</td> <td>4.2%</td> <td>4.8%</td> <td>5.7%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>5.3%</td> <td>5.6%</td> <td>5.6%</td> <td>5.8%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>5.3%</td> <td>5.8%</td> <td>5.7%</td> <td>5.8%</td> <td>6.0%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	研究経費	1,069	1,296	1,453	1,831	1,848	業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758	業務費対研究経費比率(琉球大学)	3.6%	4.2%	4.8%	5.7%	5.5%	Gグループ(※1)	5.3%	5.6%	5.6%	5.8%	5.8%	同規模大学(※2)	5.3%	5.8%	5.7%	5.8%	6.0%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
	研究経費	1,069	1,296	1,453	1,831	1,848																																
業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758																																	
業務費対研究経費比率(琉球大学)	3.6%	4.2%	4.8%	5.7%	5.5%																																	
Gグループ(※1)	5.3%	5.6%	5.6%	5.8%	5.8%																																	
同規模大学(※2)	5.3%	5.8%	5.7%	5.8%	6.0%																																	
活動性	業務費対教育経費比率 【教育経費 ÷ 業務費】 業務費に対する教育経費を示す指標。この比率が高いほど教育活動に使用される経費割合が高い。 【高い値ほど良い】	業務費対教育経費比率  <p>(単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育経費</td> <td>1,366</td> <td>1,851</td> <td>1,659</td> <td>1,775</td> <td>1,840</td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>29,757</td> <td>30,585</td> <td>30,448</td> <td>31,850</td> <td>33,758</td> </tr> <tr> <td>業務費対教育経費比率(琉球大学)</td> <td>4.6%</td> <td>6.1%</td> <td>5.4%</td> <td>5.6%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>5.0%</td> <td>5.7%</td> <td>4.9%</td> <td>5.0%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>5.3%</td> <td>6.0%</td> <td>5.1%</td> <td>5.2%</td> <td>5.6%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	教育経費	1,366	1,851	1,659	1,775	1,840	業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758	業務費対教育経費比率(琉球大学)	4.6%	6.1%	5.4%	5.6%	5.5%	Gグループ(※1)	5.0%	5.7%	4.9%	5.0%	5.2%	同規模大学(※2)	5.3%	6.0%	5.1%	5.2%	5.6%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
	教育経費	1,366	1,851	1,659	1,775	1,840																																
業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758																																	
業務費対教育経費比率(琉球大学)	4.6%	6.1%	5.4%	5.6%	5.5%																																	
Gグループ(※1)	5.0%	5.7%	4.9%	5.0%	5.2%																																	
同規模大学(※2)	5.3%	6.0%	5.1%	5.2%	5.6%																																	
活動性	業務費対教育研究支援経費比率 【教育研究支援経費 ÷ 業務費】 業務費に対する教育研究支援経費を示す指標。この比率が高いほど教育研究支援活動に使用される経費割合が高い。 【高い値ほど良い】	業務費対教育研究支援経費比率  <p>(単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育研究支援経費</td> <td>581</td> <td>789</td> <td>669</td> <td>516</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>29,757</td> <td>30,585</td> <td>30,448</td> <td>31,850</td> <td>33,758</td> </tr> <tr> <td>業務費対教育研究支援経費比率(琉球大学)</td> <td>2.0%</td> <td>2.6%</td> <td>2.2%</td> <td>1.6%</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>1.5%</td> <td>1.7%</td> <td>1.5%</td> <td>1.5%</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>1.7%</td> <td>1.9%</td> <td>1.8%</td> <td>1.6%</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	教育研究支援経費	581	789	669	516	538	業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758	業務費対教育研究支援経費比率(琉球大学)	2.0%	2.6%	2.2%	1.6%	1.6%	Gグループ(※1)	1.5%	1.7%	1.5%	1.5%	1.6%	同規模大学(※2)	1.7%	1.9%	1.8%	1.6%	1.8%
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																
	教育研究支援経費	581	789	669	516	538																																
業務費	29,757	30,585	30,448	31,850	33,758																																	
業務費対教育研究支援経費比率(琉球大学)	2.0%	2.6%	2.2%	1.6%	1.6%																																	
Gグループ(※1)	1.5%	1.7%	1.5%	1.5%	1.6%																																	
同規模大学(※2)	1.7%	1.9%	1.8%	1.6%	1.8%																																	

【主な財務指標】

指標		経年比較																																															
活動性	<p>学生当教育経費</p> <p>【教育経費 ÷ 学生数（修士・博士含む）】 学生1人当たりの教育規模を示す指標。この数値が大きいほど学生1人当たりの教育に要する経費が大きい。 【大きい値ほど良い】</p> <p>学生数とは、修士・博士課程を含む平成24年5月1日現在の在籍者を指す。</p>	<p>学生当教育経費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育経費</td> <td>1,366,432</td> <td>1,851,865</td> <td>1,659,326</td> <td>1,775,208</td> <td>1,840,355</td> </tr> <tr> <td>学生数(修士・博士含む)</td> <td>8,135</td> <td>8,193</td> <td>8,277</td> <td>8,331</td> <td>8,273</td> </tr> <tr> <td>学生当教育経費(琉球大学)</td> <td>167</td> <td>226</td> <td>200</td> <td>213</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>206</td> <td>246</td> <td>213</td> <td>224</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>202</td> <td>236</td> <td>200</td> <td>216</td> <td>242</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	教育経費	1,366,432	1,851,865	1,659,326	1,775,208	1,840,355	学生数(修士・博士含む)	8,135	8,193	8,277	8,331	8,273	学生当教育経費(琉球大学)	167	226	200	213	222	Gグループ(※1)	206	246	213	224	241	同規模大学(※2)	202	236	200	216	242											
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																											
	教育経費	1,366,432	1,851,865	1,659,326	1,775,208	1,840,355																																											
学生数(修士・博士含む)	8,135	8,193	8,277	8,331	8,273																																												
学生当教育経費(琉球大学)	167	226	200	213	222																																												
Gグループ(※1)	206	246	213	224	241																																												
同規模大学(※2)	202	236	200	216	242																																												
<p>教員当研究経費</p> <p>【研究経費 ÷ 教員数】 教員1人当たりの研究活動規模を示す指標。この数値が大きいほど研究活動で使用される経費が大きい。 【大きい値ほど良い】</p> <p>教員数とは、任期付きを含む常勤の教員で平成24年5月1日現在の現員を指す。</p>	<p>教員当研究経費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究経費</td> <td>1,069,024</td> <td>1,296,832</td> <td>1,453,901</td> <td>1,831,336</td> <td>1,848,215</td> </tr> <tr> <td>教員数</td> <td>859</td> <td>841</td> <td>849</td> <td>855</td> <td>851</td> </tr> <tr> <td>教員当研究経費(琉球大学)</td> <td>1,244</td> <td>1,542</td> <td>1,712</td> <td>2,141</td> <td>2,171</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>1,979</td> <td>2,167</td> <td>2,170</td> <td>2,283</td> <td>2,318</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>1,951</td> <td>2,145</td> <td>2,171</td> <td>2,307</td> <td>2,371</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	研究経費	1,069,024	1,296,832	1,453,901	1,831,336	1,848,215	教員数	859	841	849	855	851	教員当研究経費(琉球大学)	1,244	1,542	1,712	2,141	2,171	Gグループ(※1)	1,979	2,167	2,170	2,283	2,318	同規模大学(※2)	1,951	2,145	2,171	2,307	2,371												
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																												
研究経費	1,069,024	1,296,832	1,453,901	1,831,336	1,848,215																																												
教員数	859	841	849	855	851																																												
教員当研究経費(琉球大学)	1,244	1,542	1,712	2,141	2,171																																												
Gグループ(※1)	1,979	2,167	2,170	2,283	2,318																																												
同規模大学(※2)	1,951	2,145	2,171	2,307	2,371																																												
<p>教員当広義研究経費</p> <p>【(研究経費+受託研究経費等+※科学研究費補助金等(直接経費)) ÷ 教員数】 外部資金を含んだ教員1人当たりの研究活動規模を示す指標。この数値が大きいほど研究活動で使用される経費が大きい。 【大きい値ほど良い】</p> <p>※平成22年度以前は間接経費も含めた科学研究費補助金等の額で算出しています。</p>	<p>教員当広義研究経費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究経費</td> <td>1,069,024</td> <td>1,296,832</td> <td>1,453,901</td> <td>1,831,336</td> <td>1,848,215</td> </tr> <tr> <td>受託研究経費等</td> <td>421,697</td> <td>561,322</td> <td>498,464</td> <td>474,499</td> <td>694,342</td> </tr> <tr> <td>科学研究費補助金等 ※</td> <td>706,759</td> <td>530,846</td> <td>617,749</td> <td>645,586</td> <td>590,132</td> </tr> <tr> <td>教員数</td> <td>859</td> <td>841</td> <td>849</td> <td>855</td> <td>851</td> </tr> <tr> <td>教員当広義研究経費(琉球大学)</td> <td>2,558</td> <td>2,840</td> <td>3,027</td> <td>3,451</td> <td>3,681</td> </tr> <tr> <td>Gグループ(※1)</td> <td>4,042</td> <td>4,302</td> <td>4,305</td> <td>4,325</td> <td>4,350</td> </tr> <tr> <td>同規模大学(※2)</td> <td>3,916</td> <td>4,133</td> <td>4,160</td> <td>4,280</td> <td>4,358</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	研究経費	1,069,024	1,296,832	1,453,901	1,831,336	1,848,215	受託研究経費等	421,697	561,322	498,464	474,499	694,342	科学研究費補助金等 ※	706,759	530,846	617,749	645,586	590,132	教員数	859	841	849	855	851	教員当広義研究経費(琉球大学)	2,558	2,840	3,027	3,451	3,681	Gグループ(※1)	4,042	4,302	4,305	4,325	4,350	同規模大学(※2)	3,916	4,133	4,160	4,280	4,358
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																																												
研究経費	1,069,024	1,296,832	1,453,901	1,831,336	1,848,215																																												
受託研究経費等	421,697	561,322	498,464	474,499	694,342																																												
科学研究費補助金等 ※	706,759	530,846	617,749	645,586	590,132																																												
教員数	859	841	849	855	851																																												
教員当広義研究経費(琉球大学)	2,558	2,840	3,027	3,451	3,681																																												
Gグループ(※1)	4,042	4,302	4,305	4,325	4,350																																												
同規模大学(※2)	3,916	4,133	4,160	4,280	4,358																																												

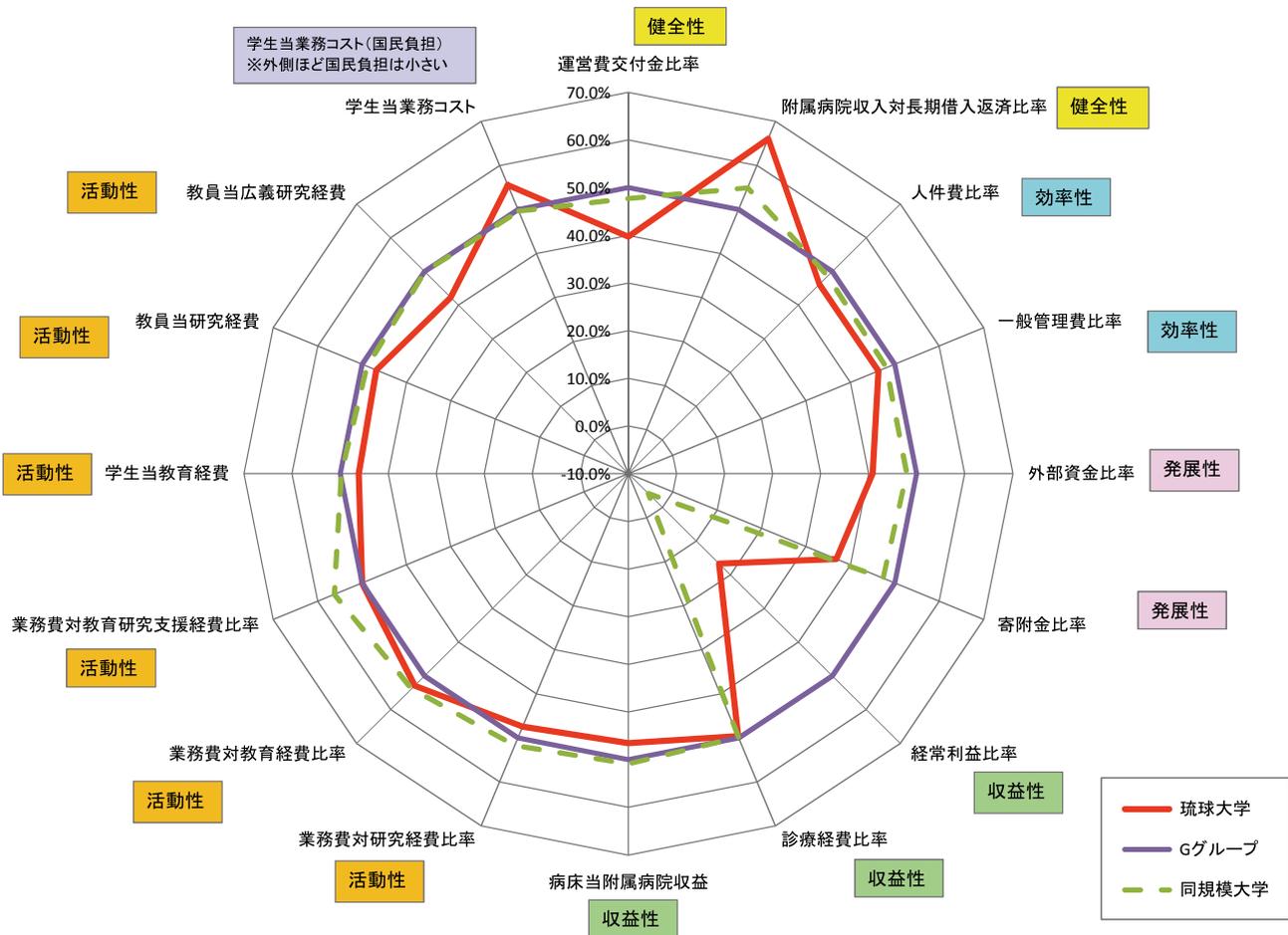
【主な財務指標】



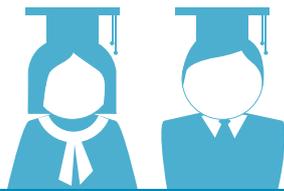
【主な財務指標】 レーダーチャートによる比較

Gグループ平均値を50とした場合の同規模大学及び琉球大学の指標を表しています。

外側にいくほど財務上の数値が高くなるように、比率が低いほうが望ましいもの（運営費交付金比率、附属病院収入対長期借入返済比率、人件費比率、一般管理費比率、診療経費比率、学生当業務コスト）につきましては、逆数を用いています。



琉球大学の教育経費・研究経費



☆学生一人当たりの教育経費

22万円

(教育経費 18億4,035万円) ÷ (学生数 8,273人)
(前年度21万円 対前年比1万円増)



☆教員一人当たりの学生数

9.7人

(学生数 8,273人) ÷ (教員数 851人)
(前年度9.7人 対前年増減なし)



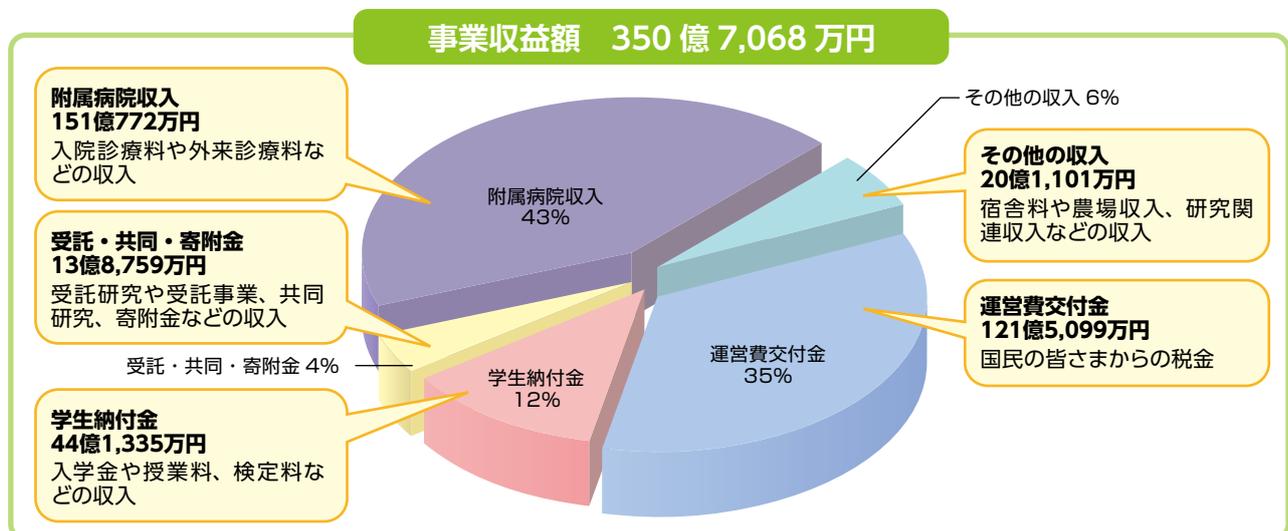
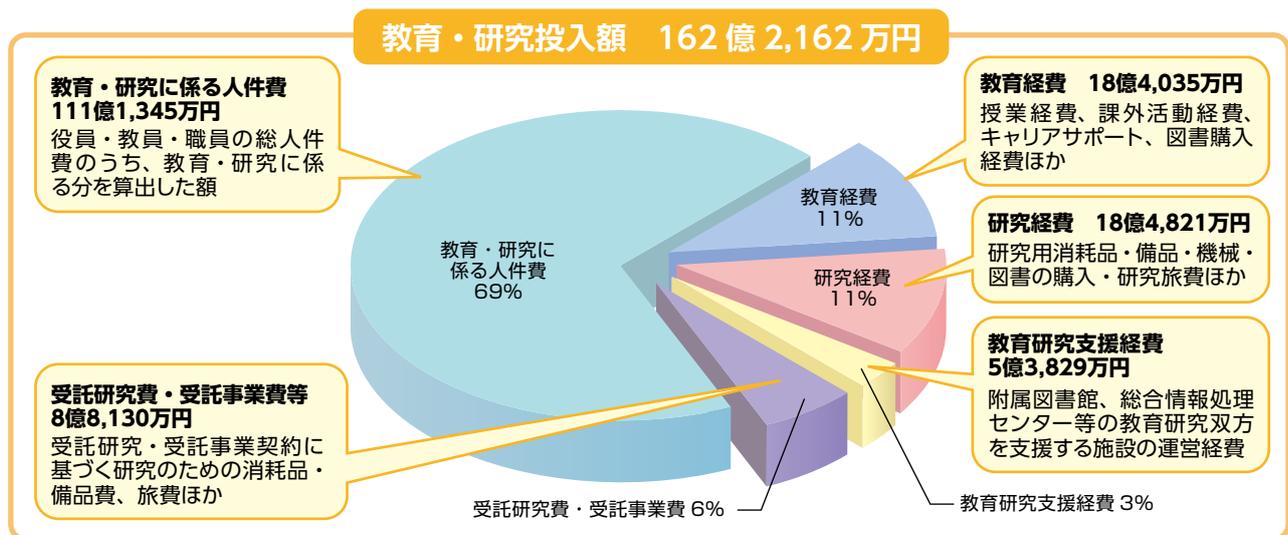
学生納付金
授業料
入学料
検定料

☆学生納付金依存度

12.5%

(学生納付金収益 44億1,335万円) ÷
(経常収益 350億7,068万円) × 100
(前年度12.6% 対前年比0.1%減)

【大学全体の教育・研究経費など】



教育関連事業

◆学生納付金

平成 24 年度の学生納付金の単価（年額）は右記のとおりです。

学生納付金単価(年額)

区 分	学 部		大学院	法務研究科
	昼間主コース	夜間主コース		
授業料	53 万 5,800 円	26 万 7,900 円	53 万 5,800 円	80 万 4,000 円
入学料	28 万 2,000 円	14 万 1,000 円	28 万 2,000 円	28 万 2,000 円
検定料	1 万 7,000 円	1 万円	3 万円	3 万円

平成 24 年度における学生納付金収益は、授業料 37 億 1,168 万円、入学料 5 億 6,091 万円、検定料 1 億 4,076 万円、総額約 44 億 1,335 万円であり、大学全体の収益の約 12.5%を占めています。

学生納付金収益

	23 年度	24 年度
授業料収益	35 億 6,361 万円	37 億 1,168 万円
入学料収益	5 億 5,682 万円	5 億 6,091 万円
検定料収益	1 億 4,438 万円	1 億 4,076 万円
合 計	42 億 6,481 万円	44 億 1,335 万円



◆入学料・授業料免除、入学料徴収猶予

本学には経済的理由によって入学料または授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生を対象に入学料または授業料の全額もしくは半額を免除する制度があります。平成 24 年度も平成 23 年度に引き続き、東日本大震災により入学料または授業料の納付が困難となった学生に対して、入学料・授業料の支援を行いました。

また、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難である学生に対して、入学料の納付を入学後半年間猶予できる制度もあります。



入学料免除の実績

23 年度		24 年度	
49 人	704 万円	44 人	648 万円
(内、東日本大震災分)		(内、東日本大震災分)	
4 人	98 万円	3 人	84 万円

授業料免除の実績

23 年度		24 年度	
2,173 人	3 億 4,291 万円	2,394 人	4 億 373 万円
(内、東日本大震災分)		(内、東日本大震災分)	
36 人	937 万円	16 人	401 万円

入学料・授業料免除(平成 24 年度)

入学料免除率 1.1%
 = 入学料免除額 (648 万円) / 入学料 (5 億 6,091 万円) × 100

授業料免除率 10.0%
 = 授業料免除額 (4 億 373 万円) / 授業料債務 (40 億 646 万円) × 100

◆県外就職活動支援事業

沖縄県内企業等(公務員採用を含む。)の求人数が少ないため、県外企業等への就職活動を通して、求人の多い首都圏等への就職促進を図ることを目的としています。県外就職を考えている学生に対し、県外での就職活動(企業説明会参加、会社訪問、採用試験受験等)を行う際に費用の一部(一律2万円)を支援しています。本事業は中期計画達成プロジェクト経費(学生援護経費)として採択され、県外への就職者数が増えました。

【事業概要】

- ・事業対象者：学部3年・4年次生、大学院修士1・2年次生(休学者を除く)で沖縄県外で就職活動を行う者
※年度につき1人1回限り
- ※県外就職活動終了後は県外就活報告書を提出し、今後の就職活動の参考資料として閲覧に供しています。

		24年度			
県外就職活動支援事業		768万円			
利用者		384人			
利用者内訳	3年	4年	院1年	院2年	
	135人	158人	47人	44人	
就職者		143人(98人)			
就職率		70.7%			

- ※県外就職活動支援を受けた学生の就職者数と就職率を表しています。
- ※就職者欄の()は県外への就職者数で内数。
- ※就職率は県外就職活動支援を受けた学部4年次および大学院修士2年次に対する就職率を表しています。

◆学生援護会寄附金

「琉球大学学生援護会寄附金」として、学内外の有志より幅広く寄附を募っています。平成24年度においては約381万円の寄附があり、経済的に困窮している学生への奨学寄附金や課外活動奨励金として給付しました。

23年度	24年度
377万円	381万円



【事業概要】

経済的理由による学資納付事業	●学部学生 23名 × 13万4,000円
学会発表等で必要な経費の一部支援	●大学院生 15名 × 5万円
課外活動への支援	●体育祭への支援 5万円 ●リーダーシップセミナー 10万円

◆TA(ティーチング・アシスタント)制度

優秀な大学院生を対象に教育的配慮のもと、学部学生などに対する助言や実験、実習、演習などの教育補助業務を行わせ、大学教育の充実と大学院生への教育トレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当を支給することにより、大学院生の処遇の改善の一助とすることを目的とした制度です。

TA(ティーチング・アシスタント)雇用実績			
23年度		24年度	
363人	2,848万円	370人	2,748万円

◆RA(リサーチ・アシスタント)制度

優れた博士後期課程学生に対する研究支援および将来の若手研究者の育成・確保に資するため、学内の研究プロジェクト等に研究補助者として従事するとともに、これを通じて、関連分野等について幅広い知識・経験等を取得することを目的とした制度です。

RA(リサーチ・アシスタント)雇用実績			
23年度		24年度	
100人	1,537万円	94人	1,556万円

◆海外職場体験ツアー

経済成長著しいアジアでの就業体験や交流体験を通じ、海外へ目を向けた就職活動を行う意識を養うため、海外職場体験ツアーを行っています。平成24年度は9月に香港、3月にシンガポールへのツアーを実施し、エントリーシートと面接試験によって選考された学生が各4名参加しました。ツアーでは現地企業の職場体験、経営者や現地の学生との意見交換を行いました。帰国後は報告会を実施し、他学生の意識向上も促しています。



◆キャンパスライフ支援プラザの設置

学生の「居場所」や「交流の場」を提供し、学生生活を支援することを目的として、平成24年6月にキャンパスライフ支援プラザを設置しました。本学で臨床心理学を専攻する大学生によるピア・サポート業務（同じような立場の人によるサポート）を実施し、学生からの生活や履修、就職などに関する相談を受け付けています。



研究関連事業



教員1人当たり研究経費

217万円

= [研究経費 (18億4,821万円) ÷ 教員数 (851人)]
(前年度 214万円 対前年比 3万円増)



教員1人当たり研究経費
(外部資金、科研費含)

368万円

= [研究経費 (18億4,821万円) + 科学研究費補助金 (直接経費) (6億9,434万円) ÷ 教員数 (851人)]
(前年度 345万円 対前年比 23万円増)

◆主な研究経費区分

中期計画達成プロジェクト経費
(戦略的研究推進経費)

平成24年度採択件数 **10** 件 **6,700** 万円

全学的に重点的に取り組む事項として定めた中期計画を実現するために研究プロジェクトを学内公募し、意欲的な取組を支援しています。採択されたプロジェクトには「熱帯生物圏における先端的環境生命科学共同研究拠点形成事業」などがあります。

中期計画達成プロジェクト経費
(科学研究費獲得インセンティブ経費)

平成24年度採択件数 **3** 件 **300** 万円

高額(1千万円以上)な科学研究費補助金獲得に向け、研究組織を立ち上げ、2年以内に応募するための研究計画経費です。採択された研究には「創薬に有用な世界初の自然発症 急性心筋梗塞モデルの開発」などがあります。

若手研究者支援研究経費

平成24年度採択件数 **21** 件 **1,937** 万円

将来有望な若手研究者による先進的・独創的研究課題に対して支援し、その実績を基にして、若手研究者が科学研究費を獲得・自立することを目的としたスタートアップ事業で、「泡盛黒麹菌の形質転換系の構築」などがあります。

特別経費(プロジェクト分)

(大学の特性を生かした多様な学術研究の充実)

平成24年度採択件数 **7** 件 **9,692** 万円

文部科学省に申請し、採択された研究について大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実を目的とした事業であり、「融解する辺境・島嶼地域における新しい公共の創造」などがあります。

☆主な取組

◎海藻工場をベースとした持続可能な島嶼エネルギー 環境社会形成に向けた研究(工学部) (戦略的研究推進経費)

本事業では、従来处理できなかった火力発電所や工場などから出る高濃度の二酸化炭素を海水に溶かし、その二酸化炭素溶解海水を用いて海藻を高速培養し、海藻からのバイオ燃料やバイオ材料に転換する「海洋バイオマスによる二酸化炭素吸収・利活用システム」の技術研究に取り組んでいます。このシステムは二酸化炭素削減と新エネルギー・新材料の開発を組み合わせることで、新しい島嶼型エネルギー環境社会モデル構築を提案することを目的としています。



☆トピックス

◎女性研究者研究活動支援 (科学技術人材育成費補助事業)

本学では、平成24年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の採択を受けて、平成24年11月、男女共同参画室(男女参画室委員会)の下に「琉球大学うない研究者支援センター」を設置し、女性研究者がその能力を最大限発揮できるように環境整備を進めています。

大学の自己財源を活用した取組みとしては、男女共同参画推進の意識啓発を図ると同時に、女性研究者を積極的に採用した部局へのインセンティブ経費の配分や国際的な場で活躍できる女性研究者を育成するため、国際学会派遣費用助成事業や英語スキルアップセミナーの開催などの支援を行っています。



(法文学部新棟にて開催されたキックオフシンポジウム)

外部資金等

外部資金とは、本学が所有する知的・人的資源等を企業の皆さまが受託研究または共同研究という形で活用する際の対価、本学が担う教育・研究および診療等向上のために受領する寄附金などを総称しています。

自助努力による財源の確保が求められている本学においても、引き続き積極的に外部資金の導入拡大を図ることとしています。

平成24年度の主な外部資金の受入状況は、以下の表のとおりです。

●外部資金比率 **4.0%**

=[(受託研究等収益 7億1,296万円+受託事業等収益 1億9,488万円+寄附金収益 4億7,974万円)
÷ 経常収益 350億7,068万円]
(前年度 3.6% 対前年比 0.4%増)

経常収益に占める外部資金の割合を示す指標です。この比率が高いほど資金獲得能力が高いことを示します。

◆外部資金の受入状況

☆寄附金

	23年度	24年度
金額	5億7,600万円	5億9,000万円
件数	732件	737件

☆受託研究

	23年度	24年度
金額	4億900万円	6億1,800万円
件数	271件	192件

☆共同研究

	23年度	24年度
金額	7,900万円	1億1,600万円
件数	73件	78件

☆受託事業

	23年度	24年度
金額	1億7,800万円	1億9,400万円
件数	131件	129件

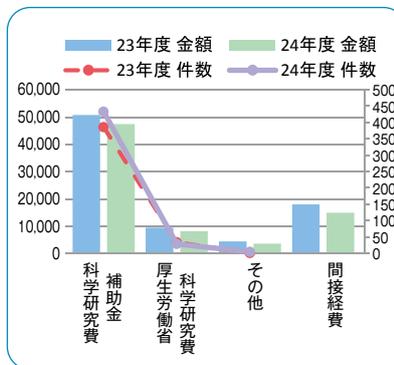
※ 平成24年度契約のうち、同年度中に未入金・未執行の契約は除く

※ 受託研究には附属病院治験を含む

◆科学研究費補助金

本学は、大学に対する様々な資金のほか、研究者個人等が獲得する多くの補助金を受け入れています。これらの資金は「預り金」として法人の収入とは区分して経理していますが、大学内の研究活動の基盤的資金として重要な位置を占めており、平成24年度は約5億9,013万円となっております。

また、これらの補助金にかかる間接経費は約1億4,917万円となっており、大学の収入として経理されます。



	23年度		24年度	
	金額	件数	金額	件数
科学研究費補助金	5億760万円	386	4億7,433万円	433
厚生労働省科学研究費	9,421万円	34	8,179万円	29
その他	4,377万円	1	3,562万円	5
小計	6億4,558万円	421	5億9,013万円	467
間接経費	1億8,003万円	-	1億4,917万円	-
合計	8億2,562万円	-	7億3,930万円	-

★ウコンの収量および品質に関する研究(農学部)

ウコンは約600年前に日本へと導入され、ウコン栽培に好適な環境である沖縄県にて盛んに栽培が行われてきました。本研究では、沖縄の環境下で生理学、生態学、統計学および遺伝学の観点からウコンの評価を行い、高品質で生産性に優れた品種「琉大ゴールド」の確立に成功しました。

また、効果的な栽培技術の検討を行い、ウコンの生産性および品質のさらなる向上を目標として研究を行っています。



「琉大ゴールド」はウコンの新品種として農林水産省に登録された、琉球大学の品種登録第1号です。



琉大ゴールド(右)と沖縄在来種(左)の側根茎の大きさ、色を比較



診療関連事業

◆実績データ

琉球大学医学部附属病院は、沖縄県内で唯一の特定機能病院として、感染症やがん治療等を中心に高度医療及び地域医療を担い、その使命を果たすとともに、東南アジア地域における医療拠点としての貢献を目指しています。

平成24年度は前年度と比較して、入院患者数、外来患者数、手術件数および附属病院収益は増加しました。また、附属病院収益の増加には、平成24年度診療報酬改定による増収も含まれております。

	23年度	24年度	増減
入院患者延べ数	185,463人	187,781人	2,318人増
1日平均入院患者数	506人	514人	8人増
外来患者延べ数	262,958人	271,411人	8,453人増
1日平均外来患者数	1,082人	1,112人	30人増
手術件数	9,991件	10,053件	62件増
附属病院収益	138億3,800万円	151億700万円	12億6,900万円増

◆機能画像診断センターについて

平成25年3月、PET/CT検査を行う施設として本学医学部附属病院内に機能画像診断センター (Functional Imaging & Communication Center：通称FIMACC(ファイマック))が設置されました。

PET/CT検査とは、放射性物質により目印を付けた薬剤を体内に注射し専用カメラで撮影することで、体内での薬剤の取り込み分布を評価する検査です。日本国内では、悪性腫瘍やてんかん、虚血性心疾患に対して保険適用が認められております。

機能画像診断センターの設置に際しては、最新鋭PET/CTカメラによるがん診療への画像診断からの貢献だけでなく、大型サイクロトロンや多核種薬剤合成装置を用いた新たな放射性診断薬の研究や臨床応用なども期待されております。

琉球大学医学部附属病院は、沖縄県唯一の「都道府県がん診療連携拠点病院」として、当センター設置が今後のがん診療に対して大きな力になると考えております。



◆診療設備及び医療設備の充実

医療の進歩や技術向上の充実を図るため、医療設備の更新、診療施設の改修等を行っています。

設備名	金額
ガンマカメラシステム一式	4,777万円
内視鏡検査支援システム一式	2億790万円
心大血管疾患リハビリテーション室の改修工事	510万円



○ガンマカメラシステム一式



○内視鏡検査支援システム一式



○心大血管疾患リハビリテーション室の改修工事

☆医学部医学科地域枠について

琉球大学医学部では、平成 21 年度より沖縄県の離島地域における医師不足や専門医の地域偏在の解消を目的とし、県内の高校出身者を対象に、地域枠(定員 12 名)を創設し、沖縄県の地域医療、特に離島医療に従事する医師の養成を図っています。この地域枠学生には、沖縄県から6年間の修学に必要な資金(学費、生活費)が奨学金として貸与され、卒業後は沖縄県の地域・へき地医療に貢献することが義務付けられています。

平成 24 年度入学の地域枠学生が8月に沖縄県庁に表敬訪問しました。地域枠学生より謝辞と地域医療に対する決意表明を沖縄県副知事に行いました。

奨学金内訳(6年間貸与)	金額
学費(年額)	53万円
生活費(年額)	54万円

推薦枠(12名)の内訳	対象者・条件
推薦入試Ⅱ(7名)	県内の高等学校から特に地域医療に貢献する優秀な人材として推薦を受けた学生が対象。
一般入試(5名)	一般選抜の合格者のうち地域枠希望者を対象に面接などの選考を経て選抜される。



☆文部科学省の平成 24 年度公募事業に琉球大学医学部が選定されました

「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業
ーグローバル&ローカル対応琉大ポリクリ方式ー

【事業の背景・目的】

医療の高度化・複雑化・多様化が進むなか、医師に対しては、プライマリケアから高度専門医療、救急医療、終末期医療など多様な疾患に関する知識・技能の修得や、患者・家族との対話を通じた良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力の向上等が求められています。しかし、日本の医学生の臨床実習は、内容が見学にとどまるものが多いなどの問題もあり、診療参加型の臨床実習(クリニカル・クラークシップ)の更なる充実が必要であることが指摘されています。また、諸外国に比べ実習期間が短く、診療参加型の度合いが低いとの指摘もあります。

そのため、本事業では、新たな診療参加型臨床実習モデルの構築を行う優れた取組等を支援し、社会から求められる十分な知識・技能・態度を備えた高い臨床能力を有する優れた医師を養成します。

【本事業の概要】

1. グローバルな医学教育基準を満たすカリキュラム
 - ・参加型実習の充実
 - ・自己学習の推進と屋根瓦方式による教育体制の確立
 - ・72週間の実習時間の確保
2. 臨床実習全体のコーディネートを行う部署の新設と担当者の配置
3. 県立中部病院への実習時間の増大(救急・プライマリケア教育の充実)
4. 地域医療を守る教育(離島病院・診療所での実習)
5. 教員・医員・研修医・上級生への教育技法FDを実施
6. 安全な臨床実習実施のために、シミュレーション教育と臨床倫理教育を実施

文部科学省からの補助金： 1,060万円

土地・建物など

◆施設整備

教育・研究活動を展開する上で、その基盤である施設を整備し、維持管理を適切に行うことは極めて重要です。また、アメニティの向上への対応も充実させる必要があります。平成 22 年度より学生へのアンケート結果も考慮した上で、教育研究等アメニティ改善経費を措置し、改善に努めています。

平成 24 年度において実施した主な施設整備事業は下表のとおりです。

平成24年度施設整備事業

実施事業	工事費
琉球大学(医病)自家発電設備棟新営その他工事等	6億5,232万円
琉球大学(附小)附属小学校校舎新営工事等	5,634万円
小計	7億 866万円

平成24年度教育研究等アメニティ改善経費

実施事業	工事費
農場学生ゼミ・実験室及び実習室改修	1,000万円
保健管理センターの機能充実 (カウンセリング室及び診察室等の拡充)	665万円
千原寮共用棟の男女シャワー室の改修	500万円
小計	2,165万円
合計	7億3,031万円



琉球大学(附小)附属小学校校舎新営工事等



千原寮共用棟の男女シャワー室の改修



琉球大学(医病)自家発電設備棟新営その他工事等

◆図書

図書は教育研究を行う上で基礎となる重要な資産に位置づけられています。本学附属図書館は、中央図書館制度を採り入れ県内最大の蔵書数を誇っており、設立当初から、地域教育・研究を積極的に支援するため沖縄関係資料の収集に力を入れています。

また、国際連合（UN）の寄託図書館及び欧州連合（EU）の情報資料センターに指定されていることから、附属図書館のなかに国際資料室を設置し、地域の方々に一般公開をしています。



蔵書数及び利用者数

区分	24年度
蔵書数	104万442冊
利用者数	63万535人

附属図書館の詳細については、本学ホームページ上の附属図書館をご覧ください。

次の URL よりご覧下さい。

<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>

◆土地・建物

琉球大学は千原地区及び上原地区を中心として、瀬底地区、西表地区及び与那・奥地区等にも土地・建物を所有しています。



◆琉球大学への寄附について

琉球大学は、建学の精神である「自由平等、寛容平和」を継承発展させて、「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を基本理念としております。これらを達成するため中期計画及び年度計画を策定し、全ての教職員、学生が日々努力しているところであります。

平成16年度の国立大学法人化以降の大学運営は、国から交付される運営費交付金が年々削減されるという厳しい状況となっています。これまでに蓄積した知識や技術を後世に継承し、琉球大学に課せられた社会的使命を果たしていくためには、事業収入の増額を図るとともに外部資金の獲得が重要なものとなっています。このため、本学の状況をご理解いただき、理念等に賛同していただける方々にご寄附をお願いしているところであります。

寄附には、特色ある研究活動への支援、学生への奨学支援、大学の管理運営に対する支援などがあり、いずれも寄附者の寄附目的を尊重し、有効に活用させていただいております。

つきましては、卒業生をはじめ、地域・企業の皆様方には本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

問合せ：財務部財務企画課総務係 電話098-895-8044
又は各学部事務部へ問合せください。



国立大学法人 琉球大学 財務報告書
平成24年4月1日～平成25年3月31日



財務報告書に関するお問い合わせは
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学 財務部 財務企画課
TEL:098-895-8043
<http://www.u-ryukyu.ac.jp>